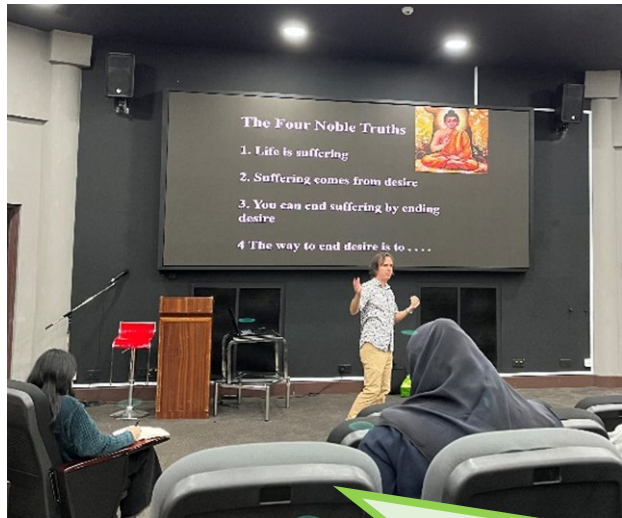


ちぎゅう見聞録

～ 香大生 around the world ～

川口黎明
さんは
見た!

Vol.45 フルネイ・ダルサラーム



UBDの授業 UBDでは1つの授業が110分あり、授業によっては講義と、生徒主体のチュートリアルが行われます。私は歴史、社会学、英語学、マレー語の4つの授業を取っています。語学教育に興味があり、英語、マレー語の授業に合わせて短期間でトルコ語の授業も受けました。授業数は少ないですが、1つ1つの授業に課題、試験があり、授業は気を抜けません。



◎教育学部3年

◎2023年8月から12月まで

EXPLOREプログラムでブルネイ・ダルサラーム大学 (UBD)に留学中

ブルネイ・ダルサラーム国

- 【首都】 バンダル・スリ・ブガワン
- 【面積】 5765km² (三重県とほぼ同じ)
- 【人口】 約44万人 (2021年)
- 【言語】 マレー語 (公用語)
英語は広く通用
- 【宗教】 イスラム教 (82%)
仏教、キリスト教 (各7%)



大学内にある**CORE**と呼ばれる寮で生活しています。寮には留学生だけでなく、現地の学生、大学院生など色々な人が生活しています。年齢や出身も人によって様々で定期的に国際交流のイベントがあり、他の国の人と交流して仲良くなることができます。日本からは15名の留学生がおり、授業が一緒だとすぐに仲良くなれました。写真は寮のウェルカムパーティの様子です。



部活動 大学では卓球部に所属しています。週に1回活動があり、ブルネイ現地の友達と一緒に卓球をして盛り上がっています。ブルネイでは人口がそこまで多くないため、スポーツの種類も限られており、サッカーが1番人気らしいです。ちなみに写真は寮のスタッフの方たちと一緒にフットサルした時の様子です。皆優しく温かい人ばかりです。



念願だったアンコールワット

ブルネイは小さな国のため、パスポートがあれば陸地ですながってあるマレーシアなどの近くの国にすぐに行くことができます。授業が休みの日などで、近くの東南アジアの国に旅行に行くこともできます。大学が1週間休みの時は、友人と東南アジア4か国を周遊しました。念願だったアンコールワットにも行くことができました。